



市川房枝は87歳の生涯を婦人参政権運動にかけた。市川房枝は立ちはだかる壁を一つまた一つと破りながら一筋に進んで、昭和20年12月に日本政府はようやく女性参政権を認めた。

- 市川房枝の長い道のりを支えた不屈の精神を育てたものは何だったのだろう。
- 険しい闘いの人生なのに、誰もが惹きつけられる笑顔の源泉はどこから生まれたのだろうか。…その秘密を、遺された写真群から選んで探してみたい。

※『女性展望』2018年1〜2月号「市川房枝写真抄伝」岩尾光代(市川房枝記念会)より

秘蔵写真が伝える市川房枝の魅力

—不屈の精神と笑顔の源泉

日時 2019年 **2**月**3**日(日)
午後2時〜4時

講師 岩尾光代さん(歴史ジャーナリスト)

会場 住吉会館ルピナス 2階 研修室

(裏面の地図をご覧ください)

定員 60名(先着順。直接会場にお越しください)

保育 あり(要予約。裏面をご覧ください)

参加費 無料

問合せ わたなべ ☎ 042-467-2089

講師プロフィール

- 1946年群馬県生まれ。文部省から毎日新聞社出版局に転職、「一億人の昭和史」シリーズを10年間編集し歴史写真の考証・発掘を行う。
- 『毎日グラフ』(のち『アミューズ』と改名)から『サンデー毎日』編集部に移籍。退職後に『サンデー毎日』に「おんな維新物語」を連載完結。
- 『週刊読書人』に「読写!一枚の写真から」長期連載中。『女性展望』に「市川房枝写真抄伝」連載中。
- 著書に『新しき明日の来るを信ず』(文庫版『はじめての女性代議士たち』)、『歴史ポケット人物新聞 伊藤博文』、近著に『姫君たちの明治維新』(文春新書、2018年)がある。

